

# 臨時休業期間中の学習と生活アンケート結果（生徒用）

6/1(月)～2(火)でアンケート実施  
 回答率91.1% (318/353名)

■ そう思う ■ だいたいそう思う (肯定的評価) ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

不安感について	①勉強 	②友達関係 	③生活リズム 	④部活動 	【実態】 臨時休業中の生徒達が「不安感」を抱いた順位を肯定的評価で捉えると、1位「勉強」74%、2位「部活動」65%、3位「生活リズム」52%、4位「友達関係」28%でした。「そう思う」だけで順位にすると、1位「部活動」37%、2位「勉強」34%という順番になり、生徒の学校生活での価値観の順番が明確になりました。
家庭学習について	⑤家庭学習の内容 	⑥家庭学習の量 	⑦「eライブラリ」や「春の学び場」利用 	⑧塾・通信教育等の利用 	【実態】 肯定的評価でみると、「家庭学習の内容」は74%、「家庭学習の量」は69%、「eライブラリや春の学び場」は45%、「塾・通信教育等の利用」は58%でした。概ね家庭学習の内容と量については、適切だったと受け止められている状況でした。家庭学習の「量」については、さらに「多かったのか」「少なかったのか」の確認が必要になります。
家庭学習の取組	⑨進んで家庭学習に取り組んだ 	⑩復習に力を入れた 	⑪予習に力を入れた 	⑫「あさぷり」に取り組んだ 	【実態】 肯定的評価でみると、「進んで家庭学習に取り組んだ」は72%、「復習に力を入れた」は52%、「予習に力を入れた」は69%、「あさぷりに取り組んだ」91%でした。新学期の学習の遅れに対する不安感から、「予習」に力を入れた勉強に取り組んでいたことが分かりました。
健康・生活面	⑬早寝・早起き 	⑭運動不足の解消 	⑮メディア接触の時間に気がつけた 	⑯家の手伝い 	【実態】 肯定的評価でみると、「早寝・早起き」は63%、「運動不足の解消」は81%、「メディア接触の時間に気がつけた」は48%、「接触的な家の手伝い」は68%でした。2人に1人は、運動不足にならないように積極的に運動をしていることが分かりました。また、5人に1人は、メディア接触の時間が長くなっていったと実感していました。
新型コロナウイルスについて	⑰3密を避ける行動 	⑱マスク着用や手洗い 	⑲不要不急の外出を控えた 	⑳感染症に関するニュースに関心 	【実態】 肯定的評価でみると、「3密を避ける行動」は86%、「マスク着用や手洗い」は98%、「不要不急の外出を控えた」は89%、「感染症に関するニュースに関心」が84%でした。概ね感染症の理解は定着しており、予防行動に取り組むことができていたと見とれました。特に「マスク着用や手洗い」は約80%ができていたと捉えていました。